

備前市事務事業評価表

事務事業名	河川維持管理事業（備前）		コード	01-03-01-03
			担当課・係	都市整備課・土木係
			担当者	梶藤
事業実施期間	平成17年度～		電話	0869-64-1835
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目（基本施策）	災害に強いまちづくり		
	小項目（施策）	河川改修・砂防施設整備		

事業について	
目的 (何のために)	台風、大雨等での河川増水のための決壊、氾濫による浸水被害を防ぐ。
対象 (誰・何を対象に)	河川の浸水区域で生活を営む住民、浸水区域内の道路・線路を利用する住民。
内容	河川の既設構造物で経年変化等により不具合が出ているところを修繕する。

事業の結果						
実施項目	17年度	18年度				
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)			
維持修繕箇所（工請）	11 箇所	5 箇所				
維持修繕箇所（需用費）	43 箇所	22 箇所				
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 14,376	国庫補助金等	直接事業費 7,348	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等
	人件費 3,162	受益者負担	人件費 3,867	受益者負担	人件費	受益者負担
	合計 17,538	市債 一般財源等	合計 11,215	市債 一般財源等	合計 0	市債 一般財源等
必要人員	0.47 人	0.58 人				

結果指標 ①	結果指標名	維持修繕箇所	維持修繕箇所	
	結果指標量	54	27	
	単位	箇所	箇所	
	対前年比	-	50.00%	0.00%
結果指標 ②	活動にかかるコスト	17,538,000 円	10,826,000 円	
	単位当たりコスト①	324,778 円	400,963 円	
	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト	円	円	円
	単位当たりコスト②	円	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか			
成果指標名	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量			
対前年比	-		
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 河川法	妥当性評価<A~E> A 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	市が管理する河川の維持管理であり、市が関与することは妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい	
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	住民ボランティア等の協力を仰ぎ、簡易な修繕箇所を原材支給により行いコストの削減を図っている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	河川修繕の効果は大きく決壊等による被害は起こっていないが、河床洗掘、土砂堆積に対応する必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度状況		説明 維持管理予算は削減されており、修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて実施していく必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 30箇所 結果指標量②	

総合評価	維持管理予算は削減されており、住民参画をよりいっそう促すとともに、修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて実施していく必要がある。	評価区分 <A~E> A
------	--	--------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果